

7-7 北陸-近畿および近畿-山陰地殻活動総合観測線における連続観測結果
(1998年11月~1999年10月)

**Results from Monitoring Chains of Crustal Activities in Kinki District
(November 1, 1998-October 31, 1999)**

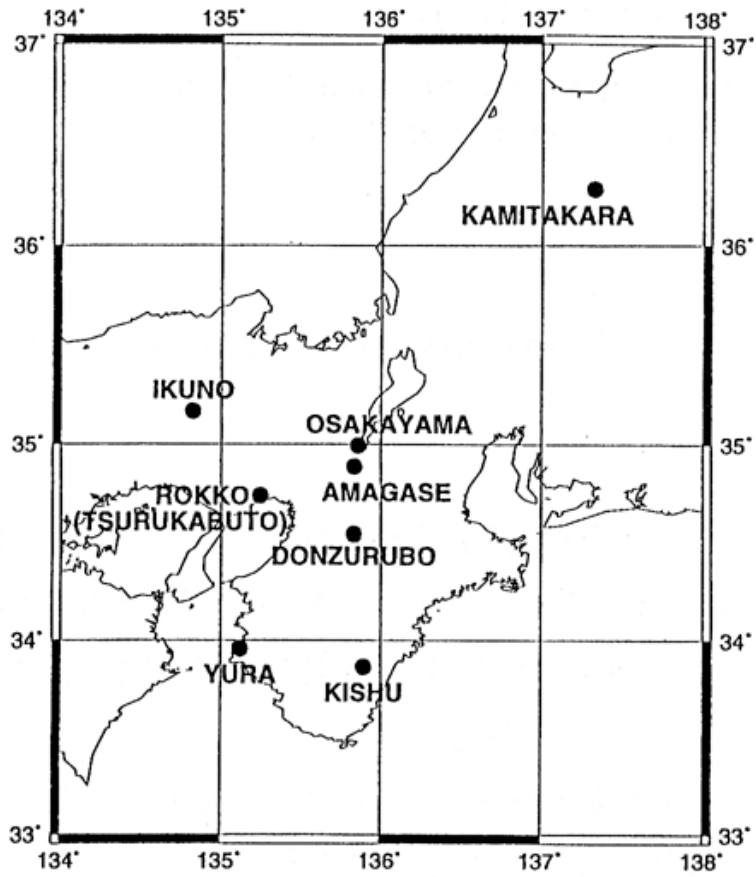
京都大学 防災研究所・理学研究科
Disaster Prevention Research Institute and Graduate School of Science,
Kyoto University

北陸-近畿および近畿-山陰の両地殻活動総合観測線を構成する観測点のうちから、第1図に示す屯鶴峯、上宝、逢坂山、天ヶ瀬、由良、紀州、生野および六甲鶴甲の8点で観測された最近1年間(1998年11月~1999年10月)の地殻ひずみを第2図から第7図に示す。一部の観測点では、傾斜、併行観測をしている雨量、気圧、地下水位も示す。

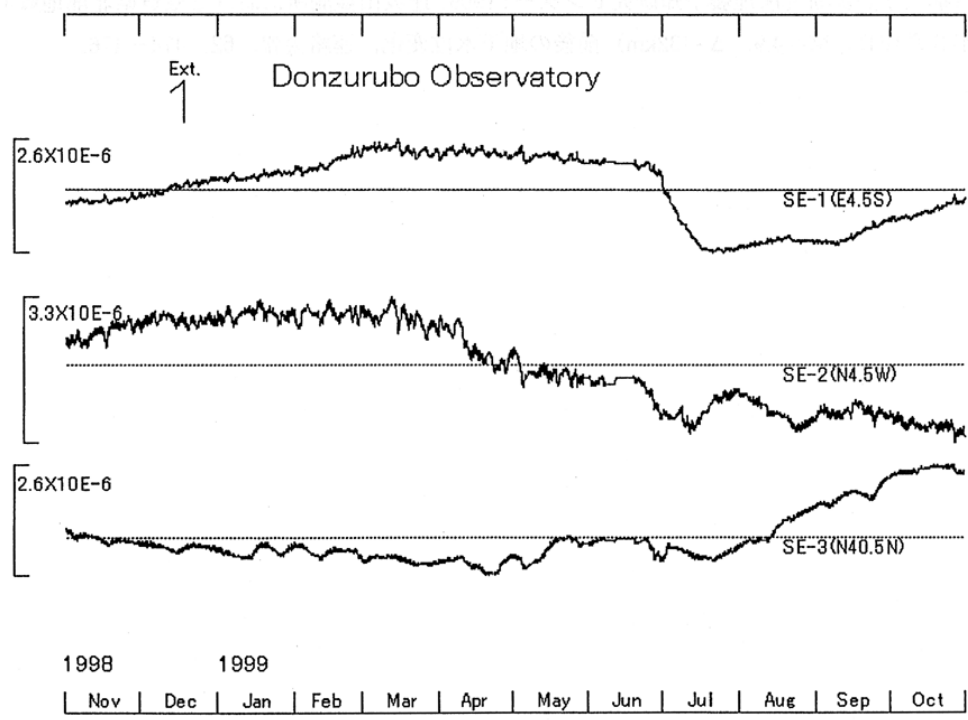
この期間では1999年3月16日に滋賀県北部でM4.9の地震が、また8月21日には和歌山県北部でM5.5の地震が発生したが、降雨の影響が顕著に出る年間記録からは、議論すべき変動は見られない。滋賀県北部地震に関しては逢坂山の水位を前号¹⁾で議論した。

参 考 文 献

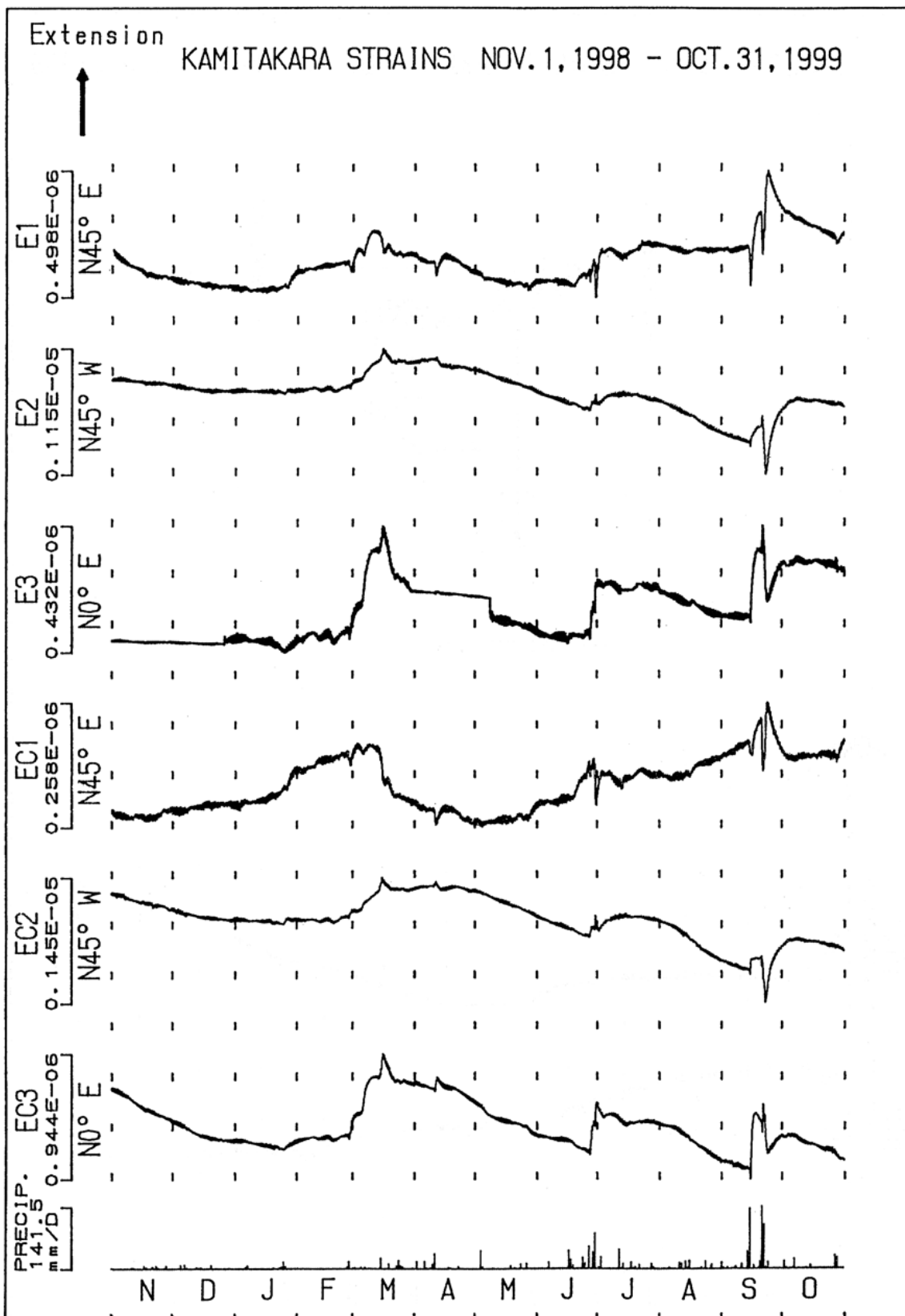
- 1) 京都大学防災研究所地震予知研究センター: 1999, 逢坂山観測所における滋賀県北部地震(1999年3月16日, M=4.9, $\Delta=32\text{km}$)前後の地下水位変化, 連絡会報, **62**, 474-476.



第1図 観測点の位置図
 Fig.1 Observation stations.

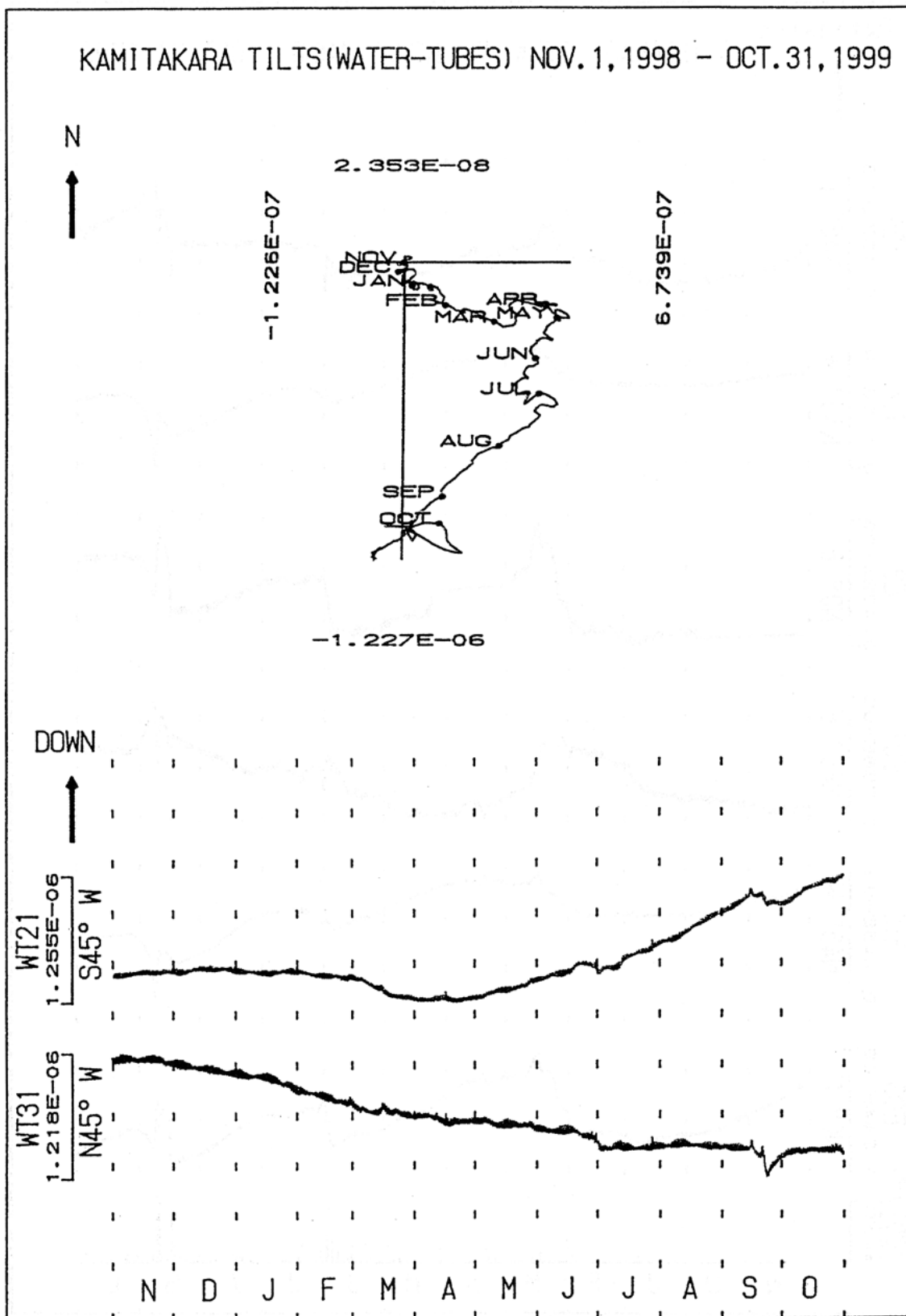


第2図 屯鶴峯におけるひずみ変化 (1998年11月~1999年10月)
 Fig.2 Strain change at Donzurubo (November,1998-October,1999).



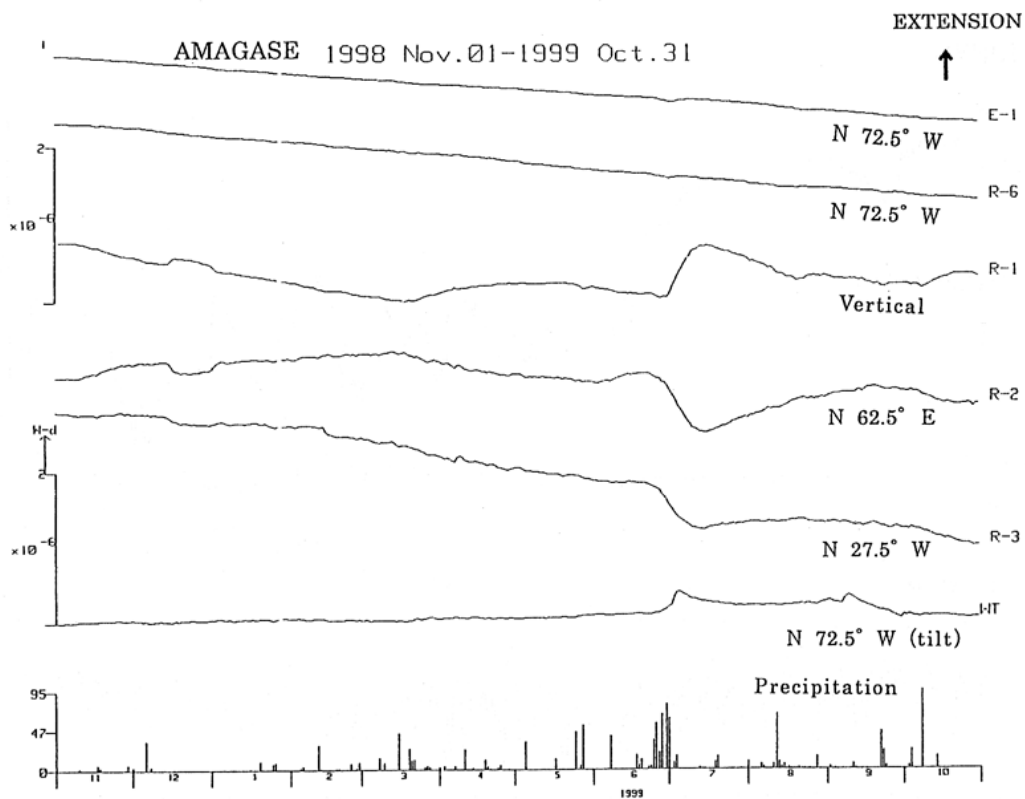
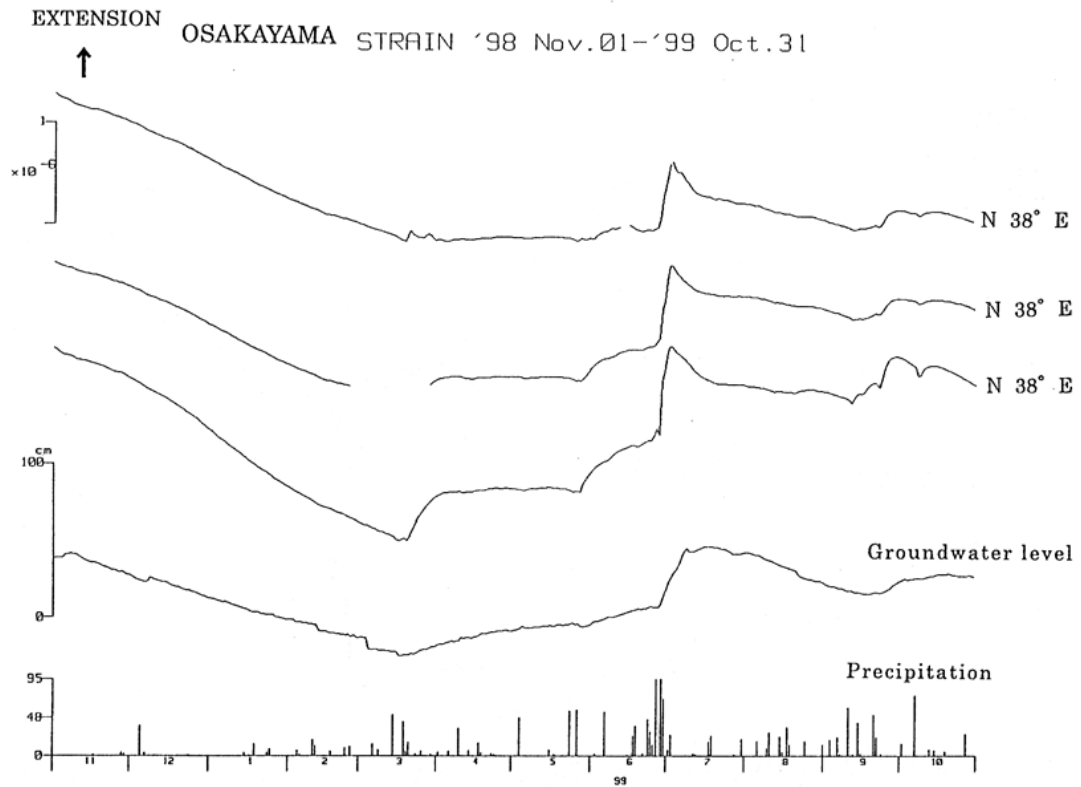
第3図 上宝におけるひずみ変化 (1998年11月~1999年10月)

Fig.3 Strain change at Kamitakara (November,1998-October , 1999).



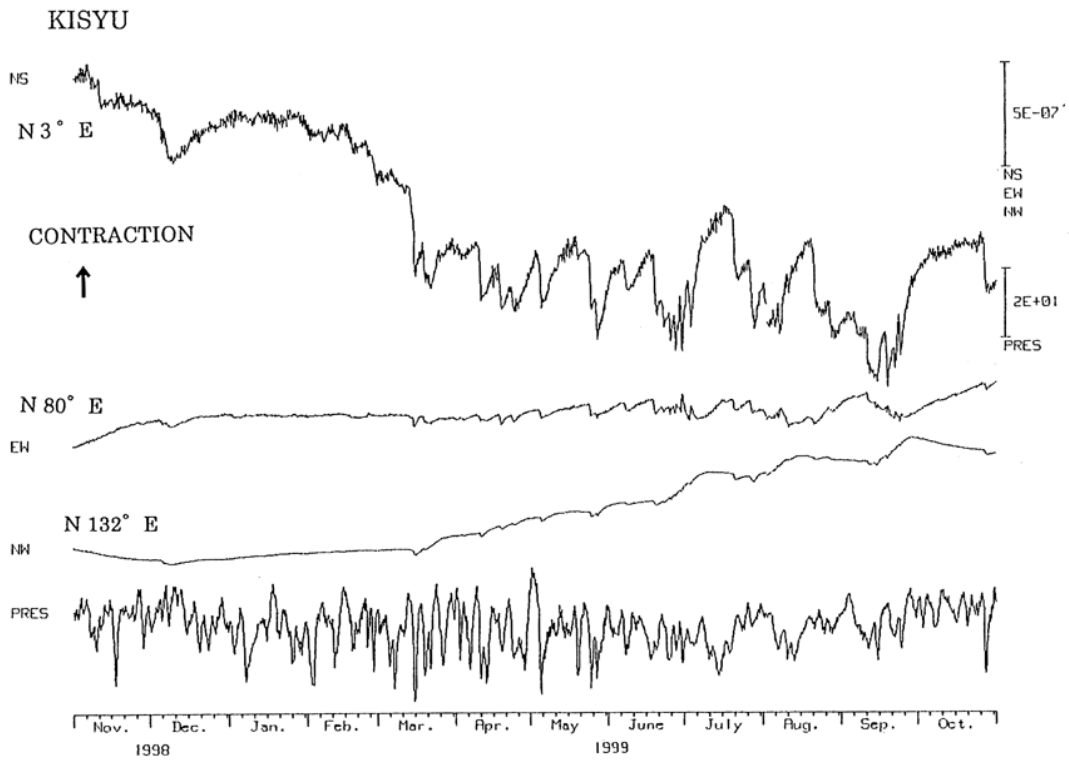
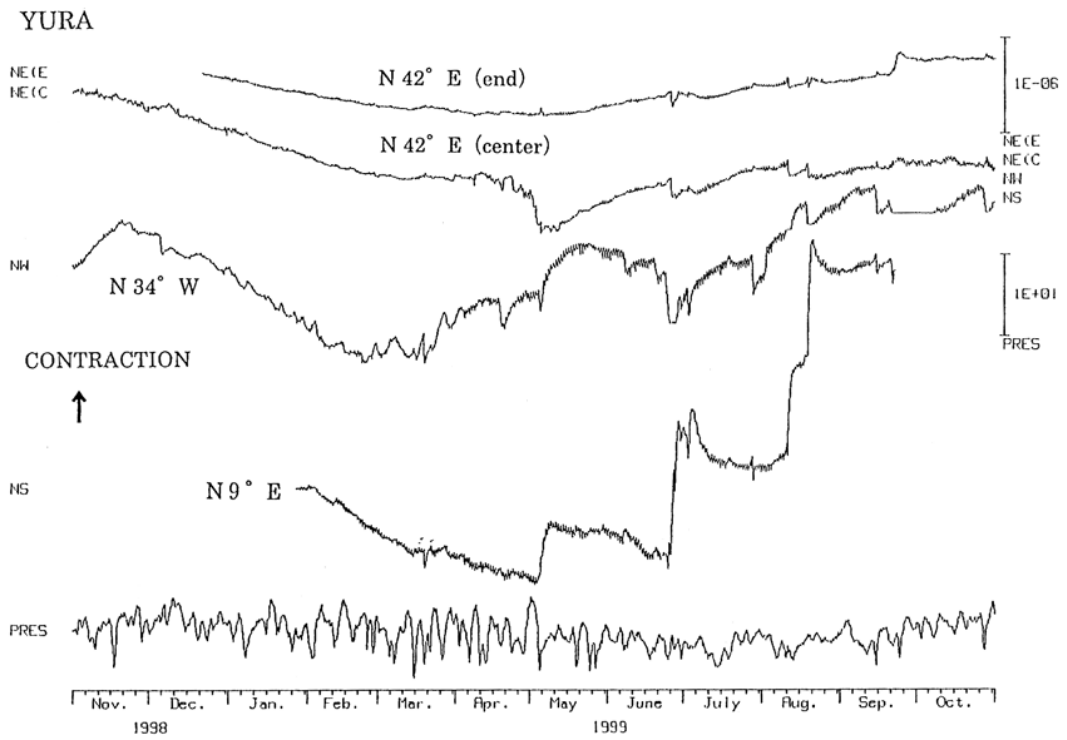
第4図 上宝における傾斜変化と日雨量 (1998年11月~1999年10月)

Fig.4 Tilt change and at Kamitakara (November, 1998-October, 1999).

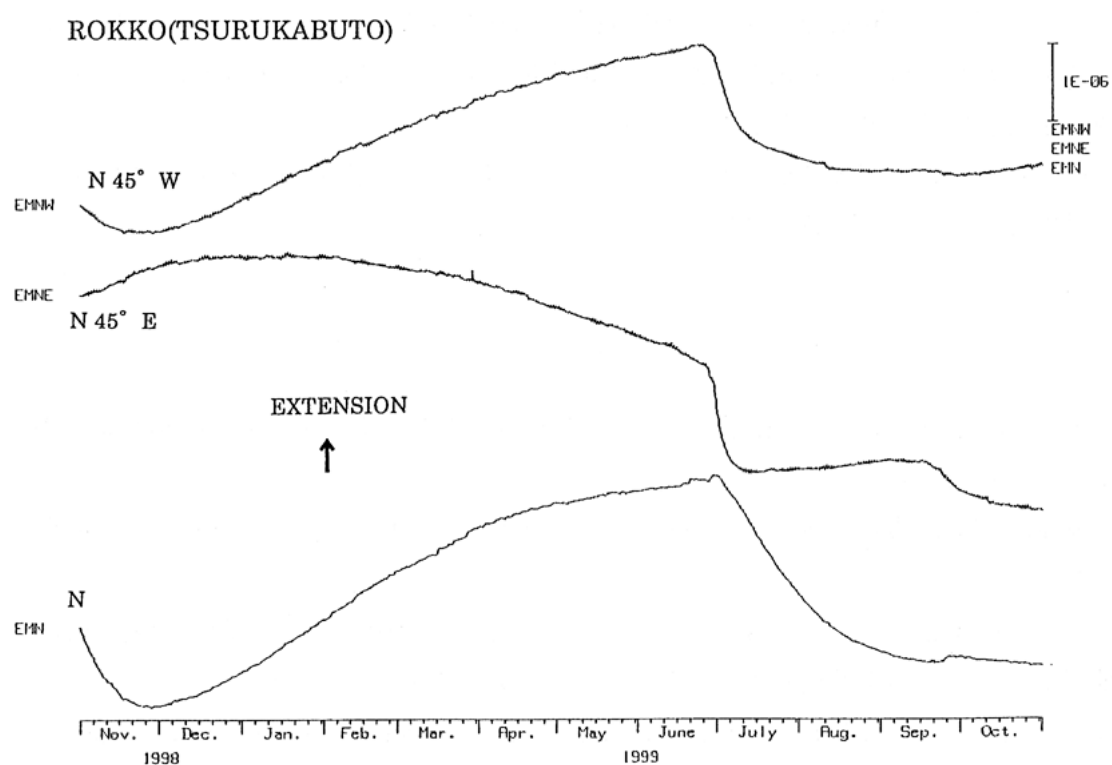
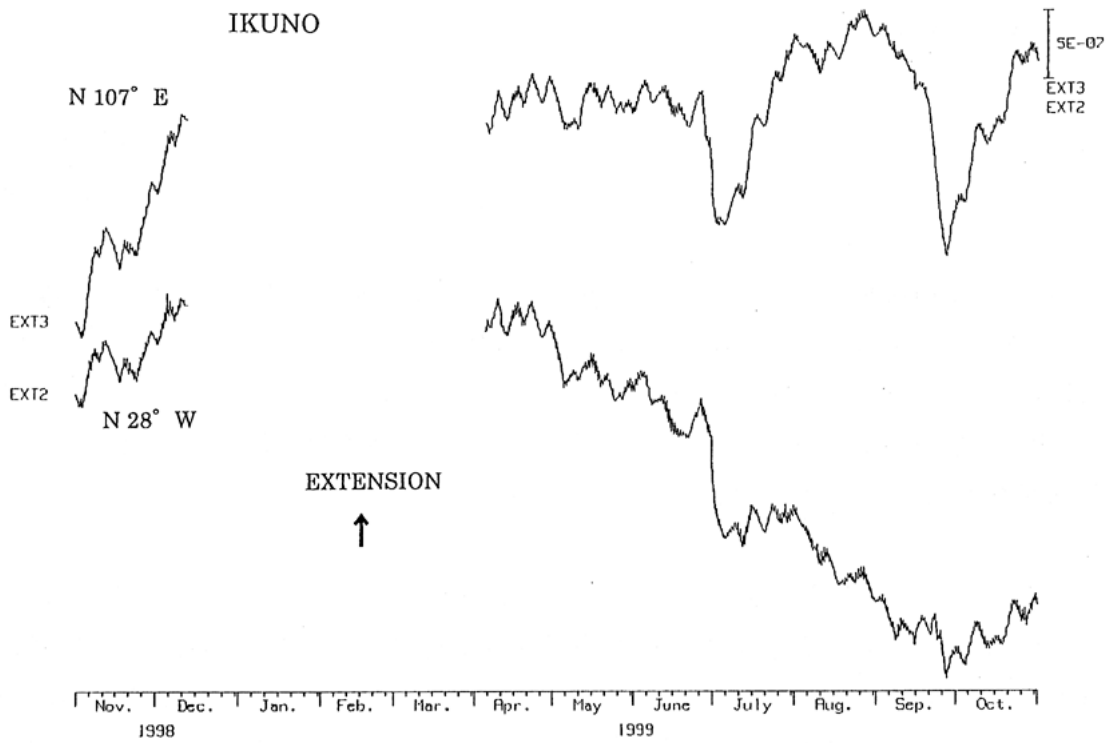


第5図 逢坂山におけるひずみ変化・地下水位・日雨量と天ヶ瀬におけるひずみ変化・傾斜変化・日雨量（1998年11月～1999年10月）

Fig.5 Strain changes and daily precipitation at Osakayama and Amagase (November, 1998-October, 1999).



第 6 図 由良・紀州におけるひずみ変化と気圧 (1998 年 11 月～1999 年 10 月)
 Fig.6 Strain changes and barometric pressure at Yura and Kishu (November, 1998-October, 1999).



第7図 生野・六甲鶴甲におけるひずみ変化 (1998年11月~1999年10月)
 Fig.7 Strain changes at Ikuno and Rokkot surukabuto (November, 1998-October, 1999).